2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	運動器外傷・再生医工学特論Ⅰ・Ⅲ	野田 知之

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）, 特論Ⅲ：1/年	

目的

運動器全般，すなわち，骨，軟骨，筋肉，腱，靭帯，神経，に関する損傷を理解し，特に整形外傷に対する診断，治療を学習する。

授業到達目標

（1）整形外科分野での医学論文の重要ポイントを理解できる。
（2）骨・軟骨・関節・靭帯・筋肉・末梢神経の構造と機能を説明でき，椎骨と脊柱の構成を説明できる。
（3）四肢の主要筋群の運動と神経支配を説明でき，骨の成長と骨代謝の機序を説明できる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	水	8:30-9:30	野田 知之	講義	[抄読会・症例検討会・研究検討会]	運動器全般および運動器外傷・再建に関する最新の診断・治療学を紹介する。 [場所:整形外科医局、もしくはカンファレンスルーム]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1）１年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）１年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1）１年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）１年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※１～３年生は２月末まで，４年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

紹介論文の要約について，ディスカッションを行い，内容を正確に把握できていることを確認する。添削して返却する。

教科書

ISBN-9784260038805, 標準整形外科学, 井樋栄二 [ほか] 編集, 医学書院, 2020

参考書

必要に応じて別途指示する。

準備学習（予習・復習等）

（1）『標準整形外科学』を読んでおくことが望ましい。
（2）教科書，参考書を用いた講義内容の確認と疑問点の解決，適宜授業によりレポート作成を行う
１授業に対して予習１時間，復習１時間を充てる

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。
整形外傷学の深い学識を獲得する。

注意事項・メッセージ

（1）随時口頭試問を行うので，常時勉強しておくこと。
（2）臨床の視点を忘れず，医療の進歩に貢献する研究を目指すこと。